



塾通信 ひまわり 35号 2025 9月



いつも塾通信をお読みいただきありがとうございます。

夏休みも終わり、2学期が始まりました。9月は秋ですが、まだまだ暑い日が続いています。いつになれば、涼しい秋が訪れるのでしょうか。読書の秋・食欲の秋は、だいふ先のような感じですね。

やればできる、必ずできる！！



1) 8・9月の活動報告

(1)8月23日(神田校舎)

専修大学オープンキャンパス参加

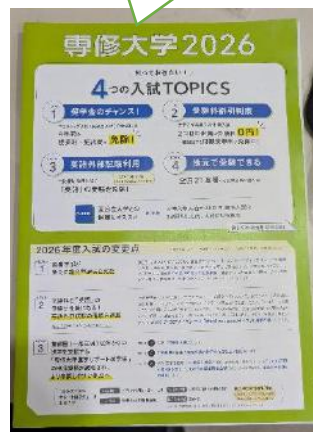
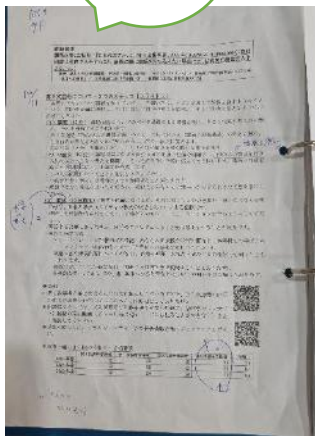
大学受験も20年前とだいぶ変わりました。昔は1点1点を争う試験で、合否を決めていました。今は半数以上が面接・小論文で合否を決める(学校指定推薦・総合選抜)ようになっています。しかも、年内で決まるためお正月はゆっくり過ごすことができます。正月特訓などは、昔話になってしまいました。

総合選抜試験では、事前に問題を教えて小論文を書かせる学校が多くなってきました。そのため、オープンキャンパスに行き情報収集することがとても重要になってきています。

出題意図や採点のポイントなどを大学の先生が説明してくれます。この説明を聞いて、試験勉強の計画を立てていきます。

試験
問題

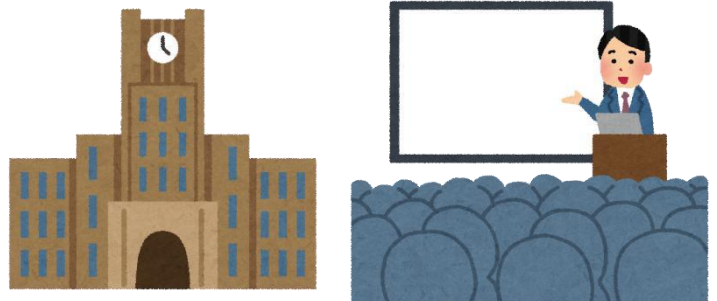
専修大学の
入試トピック



また、大学の授業の内容も説明してくれます。中学・高校と大学の授業の違いがよくわかります。中学・高校は、教科書の内容を理解し覚えることが中心ですが、大学の授業は「今まで教科書で学習した内容について、なぜ? どうして? ほんとにそうなのか?」真理を追究していく学問が中心になります。

ぜひ、中学生・高1・高2の生徒さんも大学のオープンキャンパスに行ってみてください。

新しい気づきがあるかもしれません。



(2)8月25日(月)

裁判所傍聴見学に行きました。

今回は、刑事事件(裁判員裁判)や民事事件(オンラインで裁判)を傍聴してきました。

事件の内容は、薬物事件です。手錠や縄で縛られた被告人が刑務官に連れられて、入廷して裁判が始まりました。

「冒頭手続き→証拠調べ→弁論手続き」と刑事事件の流れをみることができましたが、中学生の皆さんにとっては難しかったかもしれません。

しかし、検察官・弁護士・裁判官・被告人のよう

すを見ていろいろ感じたことがあったと思います。

被告人は、「もう二度と薬物に手を出さない」と言っていました。



皆さんは、この言葉を信じますか？

揚野弁護士によると、「薬物に手を出した人は再犯することが多く、なかなか止められないそうです。だから、絶対に薬物に手を出してはいけない」と言っていました。

裁判員裁判では、アルバイトに関与した事件でした。被告人は、まだ27歳の若い青年でした。裁判員裁判では、一般の国民（18歳以上）と裁判官と一緒に合議して、判決（有罪と量刑）を言い渡します。重大事件（殺人・放火）を審理して判決しますので、死刑判決まで言い渡しすることもできます。



(3)8月29日(金)～31日(日)

島根の小中学校・高校見学に行きました。



29日（金）朝7：15出雲空港行きの飛行機に乗って、富士山の上？を飛行していきました。出雲空港から隠岐島までプロペラ機で移動です。隠岐空港で島根県の教育庁の職員に出迎えてもらい、そのまま隠岐の村役場に直行しました。そこで、隠岐の教育委員会の担当者と意見交換会です。東京から来たと言うことで、歓迎されました。隠岐も人口が減少し、このままでは消滅の危機です。どうしたら若者が定住し人口が増えるのか。学校がなくなれば、若い人たちは本土に移住してしまいます。また、離島の問題として生まれたときからの決まった人間関係が続き、生徒のコミュニケーション能力が育たないと言っていました。このような問題点を解決するために、東京などの首都圏から生徒を呼びたいとのことです。

私が島根県など国内留学に力を入れているのは、子どもの生きる力を育てるためです。東京にいとコンビニエンスストアが近くにあり、とても便利です。必要な物は、お金を払えばすぐ手に入ります。

また、家では保護者がいます。そのため、保護者が洗濯・掃除・食事の準備など子どものためにたいへんな労力を使っています。こんなにしてくれる人は、親以外に世の中には存在しません。

では、こんなに援助してもらっている子どもたちは親の有難み、感謝の気持ちがどれほど実感しているのでしょうか。

国内留学したい生徒たちは、寮生活です。自分で朝起きて布団を畳んで、自分で洗濯して、自分で掃除して、自分のことは自分でするしかない

のです。親と同居していませんから・・・

国内留学から帰って来た生徒さんたちは、みんな親の有難みをよくわかったと言っています。

「家事などがこんなにたいへんなこと（泣）」がわかったと言っています。

私はとてもいい経験したと感じています。ぜひ、当塾からも国内留学して自分のことは自分でできる自立した人間に育ってもらいたいと思っています。

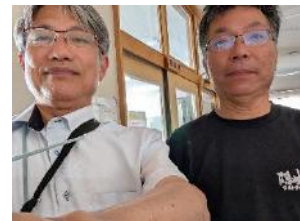
隠岐役場意見交換会の案内板



県立隠岐高校



知夫
小中学校校長



小学校と中学校が同じ校舎で、生徒総数22名です。教員は7名です。

→



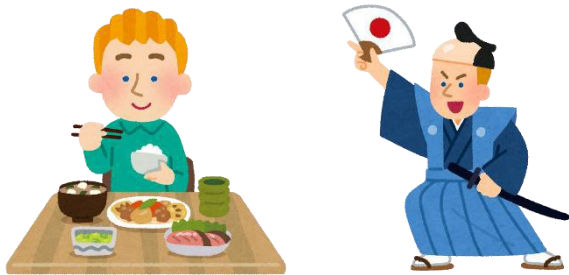
この学校では、複式学級で同じ2学年（小5と小6）が同じ教室で授業を受けます。

隠岐高校
若岡先生



(4) 9月1日(月)ドイツ人ジェスパー(19歳)がホームステイに来ました。

彼は、8月に来日しました。シア・ハウスと日本語学校に1か月ほど通い、塾に来ました。1年間のワーキングホリデーを利用して、日本語・日本の食事(和食)・日本文化や日本の子ども達(塾生)からたくさんのことを学んでいます。



日本語能力がゼロ級で来日しましたが、一所懸命勉強しています。まだ2か月も立っていないのに、かなり上達して簡単な聞き取りはできるようになった感じです。

日本での1年間の経験は、彼にとってたいへんな財産になると思います。将来、人生で困ったときやつらい場面に出くわした時に、日本での頑張って生き抜いた経験を思い出して乗り切ってもらいたいと願っています。

(日本語ができなくても、日本の会社にアルバイトの応募をしてチャレンジしています。)

すごいバイタリティー！！

不採用の連続でも落ち込まない精神力！！

ドイツ人
ジェスパー君



(5) 9月7日(日)

法と教育学会に出席(東京大学)

私と**行政書士**の仲間と小学校などで毎年出前授業を実施しています。その出前授業などの成果などを仲間の行政書士の方が分科会で発表があり、そのため出席してきました。

この学会は、教員だけではなく教員以外の方も学校問題について実践報告するところです。公立学校もだいぶ地域と交流し始めましたが、まだまだという感じがします。

東京大学



行政書士のお仕事(街の法律家)

9月28日(日)東部区民館で無料相談会！！
町会の掲示板に告知されています。チラシ参考

2) 今後の予定

(1) 9月28日(日)受験相談会

場所 池袋サンシャイン

KATOH 塾が加盟している東京私塾協同組合が主催しています。そのため、当塾の児童・生徒さんは優先的に入場できます。

直接高校の先生とお話することができるので、面白そうな先生を見つけてみてください。

そして、今度は直接中学・高校を訪問して、雰囲気・設備や他の先生・在校生のようすなどをみてくるとより学校理解が深まると思います。

(2) 10月6日(月) 7日(火)

瑞江2中中間テスト

(3) 10月19日(日) 11:00~16:00

瑞江ハロウィンに参加します。この日時に塾に来ると、お菓子がもらえます。

ドイツ人・イタリア人



誰でしょう？

<読書のすすめ>

15日・16日の連休で、喜多川 泰さんの「運転者」・「いただきます」の2冊を読みました。
この2冊は、中・高校生・保護者に勧めたい本です。

瑞江三中では、中間テストが終わりました。結果はどうでしたか？

もし、勉強しても結果が良くなかった場合、予想が外れた・・・

ぼくは、運がなかった・・と嘆いている諸君に！
保護者の方にもお勧めの本です。

「運転者」喜多川 泰

内容：現状を好転させるチャンスは自分の心の中にこそ眠っている。このチャンスを生かす幸運のアンテナを立てるためには・・・・・・

なんか目標がなく、やる気が出ない中・高生の諸君に！！

もう一度人生を真剣に生きようと考えている大人にもお勧め本です。

「いただきます」 喜多川 泰

内容：19歳の翔馬は、楽に稼げると聞き、警備員のバイトを始める。しかし、配属先はなんと大学の守衛室！！

一緒に働く3人の世界を知り、翔馬の世界の見方は変わっていく。

仕事とは何か・人生とは何か・生命のつながり・・・

彼らが「生きざま」を通して教えてくれたのは、

「未来の誰かの笑顔のために行動する」と

いうことだった。

未来に向けて、翔馬が決意したことは・・・・？

<今月のことば>

もし、今夢がないなら

目の前の小さな事に全力で取り組もう！！

